



とどろき水辺の楽校

川の生きもの観察会（ガサガサ）やカヌー教室、昆虫観察会など、名人といっしょに、多摩川とまるごとふれあうあそびをしよう！ その魅力が詰まったガイドブック「とどろき水辺の楽校へ行こう！」も発行されたよ。

◇連絡先：事務局 鈴木眞智子さん 電話：090-5814-9604

とどろきりょくち 等々力緑地

スポーツ施設や市民ミュージアムなどがある大きな公園。川崎フロンターレが本拠地にしている競技場もあるよ。

◇交通機関：JR・東急東横線武蔵小杉駅から徒歩 20 分
市バス・東急バス「市営等々力グラウンド入り口」または「市民ミュージアム前」下車

◇中原区役所道路公園センター 電話：044-788-2311

昔あそび写真展 その1

撮影：小申嘉男さん（中原図書館所蔵）

1955 年 東横線鉄橋下での魚とり

1954 年 古市場での土手すべり

川に行くときのこころえ

- ★川には、ひとりではなく、友だちや大人といっしょに行く。行き先は、家の人に伝えてから行く。
- ★川に近づくときは、ライフジャケットを身につける。
- ★川は深くみえても、急に深くなったり、流れが速いところもあるので、川の中に入るときは川にこわしいおとなといっしょに行く。
- ★大きな岩のそばなど増水するところや人のいないところはあそばない。
- ★大雨のあとは川が急に増水するため、近づかない。
- ★地震のあとは津波がくることがあるので、サイレンがなったら、川から離れて高いところ避難する。

川崎のスポーツ

多摩川ミニ知識

あばれ川・多摩川 昔は大きな洪水が何度もきて、家がこわされたり、まちが水びたしになったり…、とても大変だったんだ。たとえば幸区や中原区に住む人たちが「一刻も早く堤防を」とうったえたアミガサ事件（1914年）や、家が流されてしまった

鮎江水害（京浜河川事務所蔵）

多摩川ミニ知識

多摩川の環境 40 年くらい前の多摩川は、洗剤の泡が飛ぶほど、よごれていたんだ。今は、アユなどの生きものが戻ってくるほど、きれいになったよ。でも、絶滅の恐れがある生きものがいたり、まだまだ問題はあんだ。

流域ってなんだ？ ふった雨が川に流れ込む範囲のことを「流域」というんだ。多摩川の流域面積は 1,240km²。水質や水量など環境の問題は、流域全体で考えないと

川の上、左 上流から下流へ、川が流れる方向の右側（川崎側）を右岸、左側（東京側）を左岸というんだ。

昔はこんなあそびをしていたよ 3 「海の上のパイプをわたってハゼ釣りへ」

昔は河原の畑のまわりの掘り入り江に、メダカやヤゴ、ウナギのち魚なんかがたくさんいてな。竹で手作りのさおを作って、ゴカイをエサにして、よくつりをしてあそんだよ。おれが小中学校のころに、海の上には水と砂をすいあげるためのパイプがたくさん

語り手：小泉茂さん（殿町育ち）

わくわく生きものコーナー

しおひがり 多摩川河口の干潟（海の水が引いて、泥や砂があらわれる浅いところ）には、シジミなどの貝やたくさんのカニがすんでいるんだ。春から夏がおすすめ。

名人のポイント！ 水が一番引いているときに泥や砂をほってみると、シジミなどたくさんの生きものが見つかるよ。急に海の水が満ちてくるので、必ず大人と行こう！

わくわく生きものコーナー

魚とり 多摩川には、アユやオイカワ、ウグイ、シマドジョウなどいろいろな魚がすんでいるんだ。岸辺の草が生いしげっているところや石の下に魚はかくれているよ。

名人のポイント！ 下流側からすくうようにおみを入れ、しっかりど川底につけて足でぬいこもう。魚は人の体温に敏感なので、すぐバケツにうつそうね。川にこわしい大人といっしょに行こう！

くつしたを上ばきの上からはく、すべりにくくなるよ